

ふれあい

特集号

Vol.10

やまなし
県政だより
ふれあい「特集号」Vol.10

平成18年10月31日・山梨県広聴広報課 〒400-8501甲府市丸の内1丁目6-1



特集1 富士山を世界文化遺産へ

特集2 創意に富んだ活力ある
山梨農業の方向性を探る



地産 地消

里芋「やはたいも」

地肌の白さと粘り強さが自慢！

おいしい山梨再発見



釜無川左岸に位置する甲斐市八幡地区の約四〇戸の農家では、栽培地（八幡）の地名から「やはたいも」と名前のついた里芋を栽培しています。信玄堤が築かれる前のこの地域は、大雨が降ると釜無川が氾濫し、たびたび洪水による被害を受けていました。その結果、砂混じりの土が堆積し、水はけの良い柔らかい白い土地が作られました。

このような土壌で栽培される「やはたいも」は、地肌の白さと、柔らかく粘りが強いのが特徴です。収穫は、九月上旬から十一月にかけて行われ、JA中巨摩東部の三つの直売所などで販売されます。なかでも竜王農産物直売所では、「やはたいも」を多くの方に味わっていただくようと、毎年収穫の時期に合わせ月一回、試食会を行っています。大きめなものは、郷土料理「ほうとう」の具材として最適です。また、茹でたものを皮をむきながら、シヨウウ

が醤油などをつけて食べる「きぬかつぎ」は、「やはたいも」ならではの味が堪能できると好評です。現在、JA中巨摩東部では、「やはたいも」を「地域ブランド」特産品として商標登録の出願をしています。山梨の伝統野菜「やはたいも」をこの秋、ぜひご賞味ください。

「やはたいも」についての
お問い合わせ先
JA中巨摩東部竜王農産物直売所
☎055(276)2399



食うじゃん甲斐

毎月第3金・土・日曜日は、県産食材の日です。県産農林畜水産物を積極的に食材に取り入れましょう。県では、新鮮でおいしい地元産の食材を安心して食べる「地産地消運動」を推進し

「地産地消」についてのお問い合わせ先
農政部果樹食品流通課 電話：055(223)1600